

(4)(8)(9)(10)の金額および積算内訳については【様式・記入例】様式第1&第11別紙2添付補足資料を活用すること

経費所要額精算調書

(5)基準額は「交付決定通知書」の「補助基本額」を記入。但し交付後変更した場合は「変更交付決定通知書」の「変更後補助基本額」を記入

<記入例>

1. 経費実績額

(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 実支出額	(5) 基準額
全ての金額は消費税抜き金額で記載すること				
円	円	円	円	円
(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) L2-Tech認証製品 関連経費	(9) その他経費 (7) - (8)	(8) L2-Tech認証製品 関連経費は、補助率1/2のL2-Tech認証製品(※)の付帯を除く経費を記入
円	円	円	円	
(10) 補助金所要額 (8) × 1/2 + (9) × 1/3	(11) 補助金交付 決定額	(12) 過不足額 (11) - (10)	(11) 補助金交付決定額は「交付決定通知書」の「補助金の額」を記入。但し交付後変更した場合は「変更交付決定通知書」の「変更後補助金の額」を記入	
円	円	円		

2. 補助対象経費実支出額内訳 千円未満切り捨て

経費区分・費目	金額	積算内訳	資料番号
			見積書の対応する項目番号等を記入する
		(4) 補助対象経費実支出額は「2. 補助対象経費実支出額内訳」の合計金額と同額	
		「本体および直属機器」と「付帯機器」の両方を有する設備は、分けて積算内訳金額を記載し、「付帯機器」側は設備名称の後ろに(付帯)と記載すること	
		XXX費	
		aa, aaa, aaa 設備A (※)	
		bb, bbb, bbb 設備A (付帯)	
		cc, ccc, ccc 設備B (※)▼	
		dd, ddd, ddd 設備C	
		この凡例を記載すると共に、「積算内訳」の該当する設備名の後ろ(但し付帯設備は除く)、及び購入した主な財産の内訳の該当する「名称」の後ろに印を記載すること	
		(※) : L2-Tech認証製品 (補助率1/2)	
		(※)▼ : L2-Tech認証製品 (補助率1/3)	
合計	円		

購入した主な財産の内訳 (一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価	金額	購入時期
設備A (※)					購入時期は 検収年月日 を記入
設備B (※)▼					
設備C					
名称は、交付申請時に定義した設備名称に準ずるが、「L2-Tech認証製品」とその他の設備、「L2-Tech認証製品」はその「設備・機器等」の区分毎、またグループ申請の場合は導入事業場毎に分けられていること。					
購入した主な財産の内訳の各記載事項は、交付規程第8条により規定されている「様式第10取得財産等管理台帳」と対応させること					
単価および金額には付帯機器も含み、かつ材料費だけでなく工事費用(労務費、管理費等)を含めた金額を記入					

注 本調書に、請求書、領収書又は計算書等を添付する。